

弓道競技 国体強化練習会 少年ターゲットエイジ 強化事業

期 日：平成 26 年 11 月 29 日（土）

場 所：岩手県青少年会館 県営武道館

内 容：午前 開会式

ミーティング ①国民体育大会について

②長崎国体の報告

③国体選手に求められること

④先輩からのアドバイス（今年度、岩手県選抜選手 3 名）

午後 技術練習及び研修

上記の強化事業が高体連弓道専門部の先生方が中心となり、企画・実施され、県内高校弓道部 1 年生のうち、岩手国体の選手を志す 164 名が参加しました。岩手県の場合、中学校の部活動に弓道部がないこともあり、参加者全員が今年 4 月から弓道を始め、ちょうど半年を過ぎたあたりから、弓を引ける様になるというこのタイミングで、今回の強化事業が実施されました。



71 国体少年男子監督の吉田知治先生から、「国体とは…」という内容について、わかりやすく、講義がなされました。吉田先生が以前監督した国体での入賞エピソードなど、実体験に基づく話は、説得力がありました。



参加者 164 名は、各自の「弓道ノート」にメモをとりながら、真剣に話を聞いていました。

「ここにいる参加者の中から、確実に岩手国体の選手が出るはずです！」という吉田先生の話に目を輝かせていました。

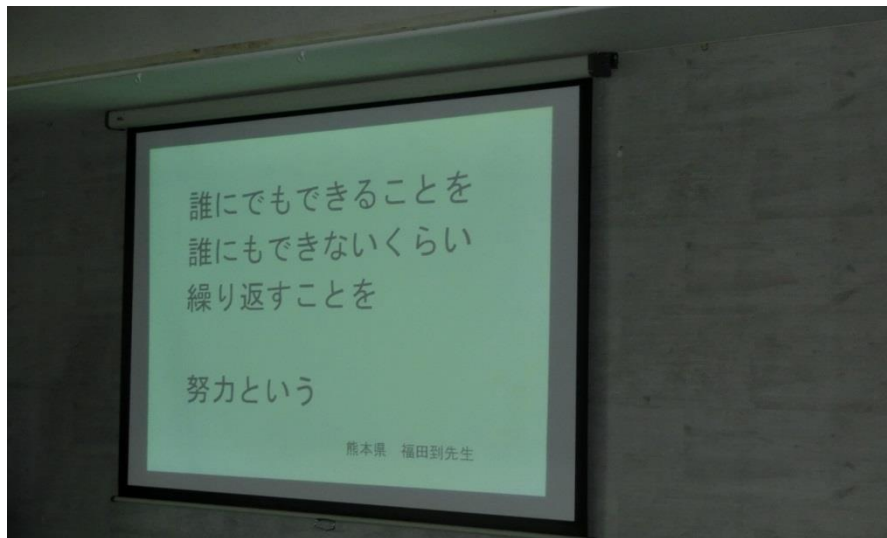
講義の中では、今年の長崎国体の様子が写真や動画などで紹介され、より具体的に国体の弓道競技の雰囲気を感じることが出来ました。



講義の後半では、技術ポイントについても説明がありました。
先生からは「基本はそれぞれ習っている弓道を信じて稽古に励むことが大切」と繰り返し、話がありました。



最後に今年、岩手県選抜としてミニ国体に参加した先輩方 3 名からの体験談がありました。進路との両立や、県選抜に選ばれるまでに努力したことなど、参加者にとって非常に貴重なアドバイスとなりました。



ミーティングの講義の中で、紹介された言葉。

「誰にでもできることを 誰にもできないくらい繰り返すことを 努力という」

基礎・基本の定着こそが、弓道競技ばかりではなく、他の競技においても大切です。この基礎・基本を定着させるためにもやはり「努力」は大切です。

弓道競技少年ターゲットエイジは、岩手国体に向け、今、まさに弓道選手としてスタートラインに立ちました。皆さんの活躍を期待しています。